

集客のしくみをつくる。



NEXTT.C.

ネクスト・ツーリズム・コンサルティング

NEXT T.C.

会社名：ネクスト・ツーリズム・コンサルティング（中国語名：華旭顧問股份有限公司）

設立：2019 年（日僑文化事業股份有限公司から日本事業部が独立し分社化）

代表者：董事長／代表取締役社長 椎原正浩

所在地：台北市中山區建国北路一段 90 號 10F-2

資本金：1,500 万台湾ドル（日本円で約 5,000 万円）

E-mail：info@jinns.com.tw

TEL：+886-2-2515-2999 内線 252/253（日本人スタッフ直通）

FAX：+886-2-2516-0855

URL：www.next-tc.com

グループ会社：日僑文化事業股份有限公司・旅報週刊雜誌社・華訊事業股份有限公司

トップメッセージ



ネクスト・ツーリズム・コンサルティング 代表取締役社長
日僑文化事業股份有限公司 代表取締役社長
旅報週刊雜誌社「TRAVEL TREND NEWS 旅報」 発行人
華訊事業股份有限公司 總經理

椎原 正浩

経済活性を「旅」が担う今、 新時代に即したサービスで日台間の発展を！

世界のツーリズムの輸出額は1兆7,000億ドル／年を達成、経済活性を「旅」が担っていると言っても過言ではありません。ネクスト・ツーリズム・コンサルティングは、台湾旅行業界30年間の節目として、日台間のより一層の発展を願い、新しい時代に合った効率・実績・結果を出すべく設立されました。

訪日台湾人はリピーターの割合が高く、訪問先は都市部から地方へ分散する傾向にあります。しかし、現状ではその訪問先に偏りが見られ、特定の観光地や物産に人気が集中しています。その理由は、各地域・団体がインバウンド誘致に投じた予算に対し、それに見合うだけの効果が得られていないからではないでしょうか。

ネクスト・ツーリズム・コンサルティングは、台湾に約4000社ある旅行会社の特徴を熟知しております。お客様のニーズや条件に合わせて、将来のビジネスパートナーとなる旅行会社をご紹介します。集客数の増加を目指します。30年間にわたり台湾の旅行市場と共に成長し、台湾の旅行業界のパートナーとして信頼され、強力なネットワークを持つ私たちだからこそ提供できるサービスをご用意しています。

これまでのインバウンド施策は費用対効果が低いとお考えであるなら、ぜひもう一度、そのやり方を見直してみたいかがでしょうか。わたしたちのサービスを通じて、より効果的なインバウンド誘致に取り組んでみたいかがでしょうか。

沿革 私たちの30年～台湾旅行業界のオピニオンリーダーとして

1987

「な～るほど・ザ・台湾（美好台湾）」創刊

1990

「Travel Trend News 旅報（TTN 旅報）」創刊

「BLANCA 博覧家旅遊雑誌」創刊

BLANCA 主催による第1回海外旅遊博覧会（O.T.F）開催

1991

JES 学生援護会教育センター設立

第2回海外旅遊博覧会

国内線定期便時刻表（DATT）誕生

1992

第3回海外旅遊博覧会

1993

第5回海外旅遊博覧会を開催

1994

国際線定期便時刻表（IATT）誕生

第6回海外旅遊博覧会

1995

長崎・ハウステンボス台湾 PR 業務代理を受託

TTN 旅報 100 号発行記念パーティー開催

1996

第1回金旅賞（行政院新聞局より表彰）

第7回海外旅遊博覧会

ITE（香港国際旅行展）代表団に業者を率いて参加

TTN 旅報が經濟部「金筆賞」入選

第8回海外旅遊博覧会

1997

国際的著名媒体「TTG」と提携し、中国で「TTG China 旅報」を発行

「旅報之友倶楽部」成立

中国北京公司設立

1998

BLANCA、JCB カード、玉山銀行と提携し、「BLANCA 旅行エリートカード」発行

第8回海外旅遊博覧会

1999

JTB「るるぶ情報版」台湾版発行契約を締結

第10回海外旅遊博覧会

TTN 旅報創刊 200 号に伴い誌面リニューアル

上海を拠点として会社設立

2000

BLANCA 創刊 100 号発行

第11回海外旅遊博覧会

TTN 旅報が週刊化

2001

第12回海外旅遊博覧会

2002

華訊事業股份有限公司設立

2003

「az Travel」、「MY CITY」創刊

2004

TTN 旅報 339 号より誌面リニューアル

月刊「旅報大中国」創刊

2005

TTN 旅報創刊 15 周年記念パーティー開催

TTN 旅報公式サイトオープン

季刊「WASABI 和最美」創刊

国内線定期便時刻表と国際線定期便時刻表を合併発行

2008

MPO 事業部設立

山形県、鹿児島県の観光 PR コーディネーター契約

訪日旅行商品情報誌「J-Paper」創刊

2009

「WASABI MOOK 版—岐阜・名古屋」発行

訪日旅行商品情報誌「J-Paper 別冊中部版」発行

2011

「臺北城市意象 A to Z」が最優秀賞受賞

2012

「好康報」発行

2013

「週刊トラベルジャーナル」（日本）、「旅行新聞」（韓国）と共に、「アジア観光産業業界誌（紙）連盟（MATIA）」結成

2014

中国国家旅游局が発行する「鄉村週末」（北京～上海高速鉄道にて販売）と提携

「華夏文明・薪火相傳 旅遊修学活動」を海峡兩岸旅遊交流協会と共同開催

「GO 旅報」アプリを正式リリース

台湾の大学生による中国各地への視察遊学を企画・開催

2015

TTN 旅報創刊 25 周年

観光アプリ「愛樂遊」を正式リリース

トラベルジャーナル学園台湾事務所を設置

2016

TTN 旅報公式サイトが RWD サイトで全面リニューアル

2017

TTN 旅報創刊 1000 号発行

観光情報誌「Ciao」（チャイナエアライングループ後援）創刊

2019

日僑文化事業股份有限公司から日本事業部を分社化し、ネクスト・ツーリズム・コンサルティングを設立

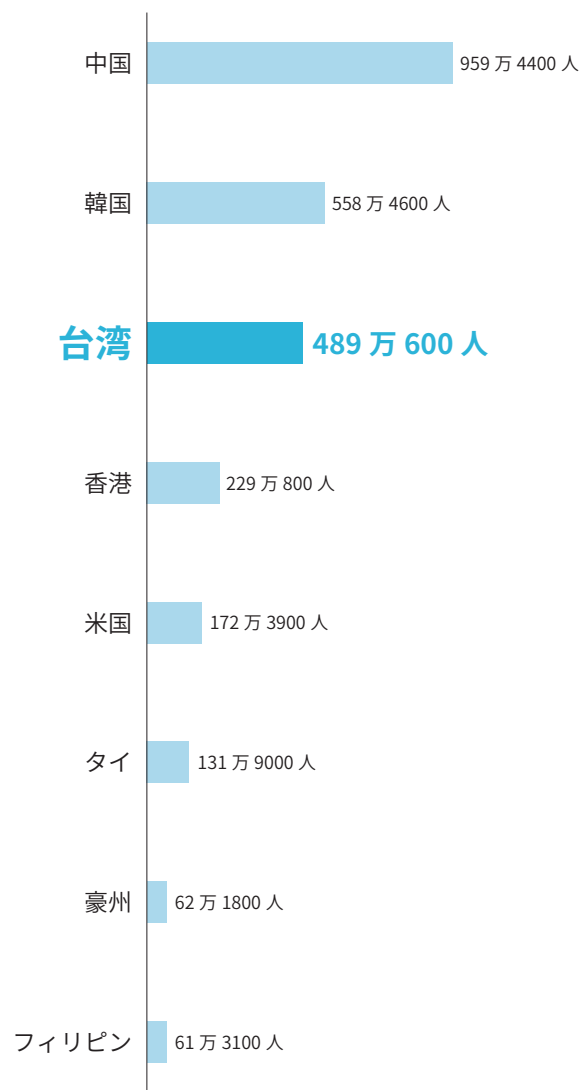
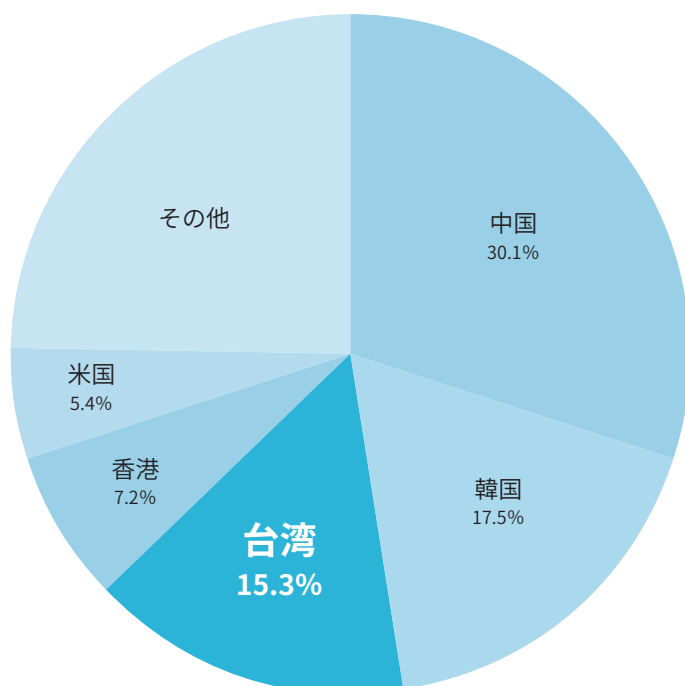
2020

TTN 旅報創刊 30 周年

インバウンド誘致で、台湾に力を注ぐべき理由

オープンスカイ（航空自由化）締結後、台湾人訪日客数は安定して増加

2015 年以降、日本を訪れる台湾人観光客の数は中国、韓国に次ぐ第 3 位を維持しており、台湾はインバウンド 3 大市場のひとつとなっています。日台間でオープンスカイ（航空自由化）協定が 2011 年に結ばれてからは、訪日数が順調に伸び、2019 年は 500 万人に迫る勢いとなりました。人口約 2400 万人のうち、5 人にひとり日本を訪れている計算です。政治や外交の影響を受けて観光客が減少することも少なく、きわめて安定した市場であるといえます。



2019 年訪日外客数 各国・地域別の内訳

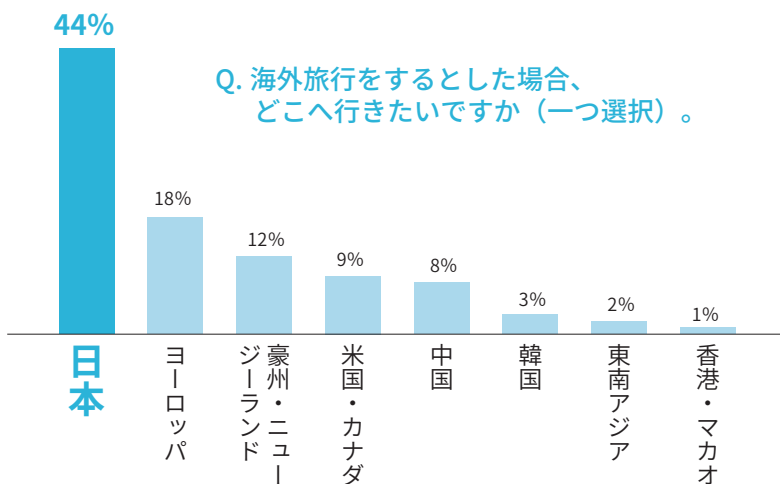
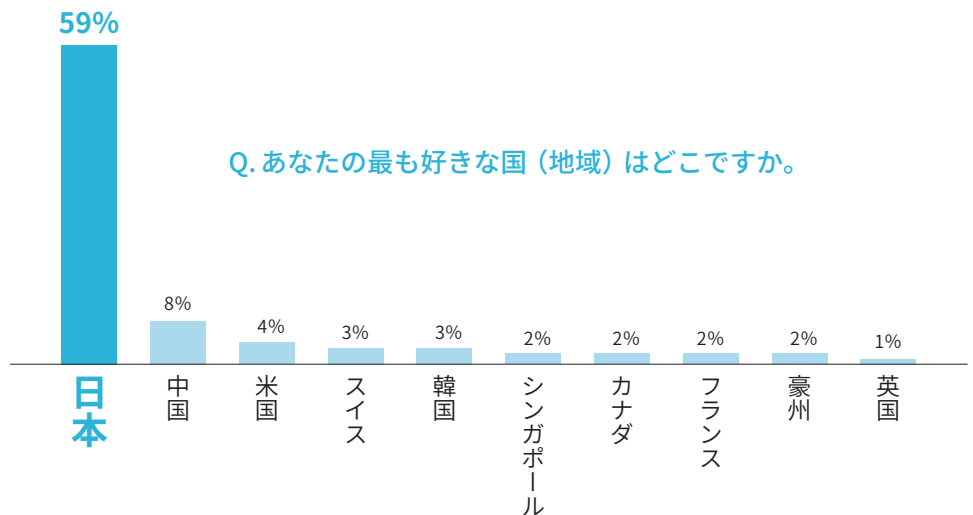
出典：日本政府観光局（JNTO）

日本への関心が高い親日国 海外旅行で最も行きたい国も日本

公益財団法人日本台湾交流協会が実施している「台湾における対日世論調査」によると、日本は2009年度以降、台湾人が最も好きな国となっています。最新の2018年度調査では、日本が好きと回答した比率が過去最高となり、第2位以下を大きく引き離しています。また、海外旅行で行きたい国として日本を挙げた人は44%で、他の国や地域に比べて高い人気を有しています。

2018 年度対日世論調査

出典：公益財団法人日本台湾交流協会



2019 年 台湾人の海外旅行先トップ 5

1	日本	491 万 1681 人
2	中国	404 万 3686 人
3	香港	167 万 6374 人
4	韓国	120 万 9062 人
5	ベトナム	85 万 3257 人

出典：交通部観光局「中華民国出国人数及び成長率」

海外旅行先は日本が常に 1 位 航空会社による輸送量も年々拡大

日本に対する好感度と訪日旅行への意欲の高さは、実際の行動にもつながっています。2011 年は東日本大震災の影響で訪日台湾人観光客が初めて減少しましたが、以降は安定した成長をみせ、台湾人の海外旅行先は 2015 年以降、連続で日本が第 1 位を獲得しています。

訪日観光客を大きく伸ばしている要因は、航空会社による増便と季節運航のチャーター便実施、そして就航都市の増加によって輸送人員数が増加しているためです。台湾の消費者にとっては、旅行ルートと目的地の選択肢がますます増えており、訪日旅行を後押ししています。



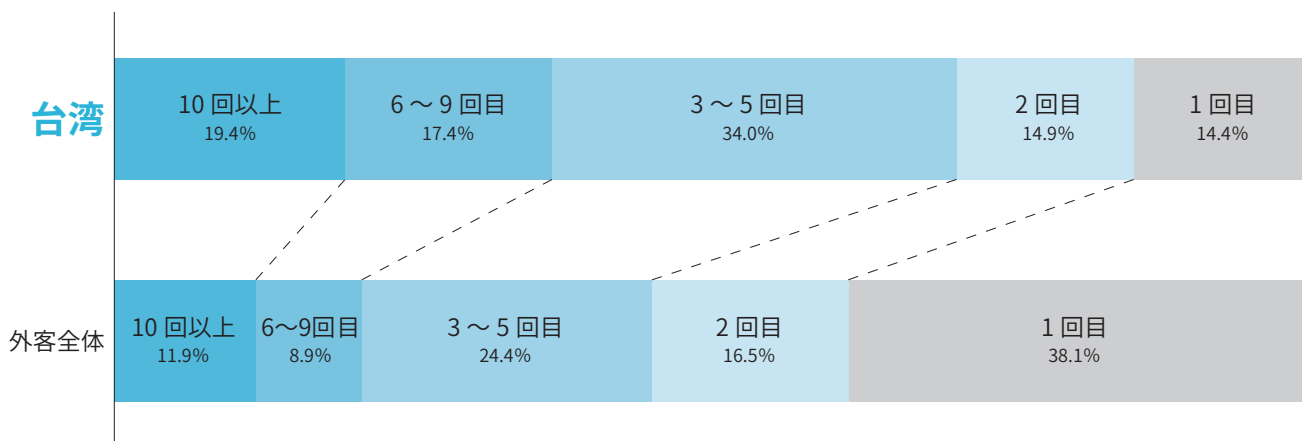
日本と異なる台湾市場の状況と 旅行業界の仕組み

訪日リピート率が圧倒的に高く、大都市のほか地方へも訪問

観光庁「訪日外国人消費動向調査」によると、2019年に訪日した台湾人観光客のうち、初来日はわずか15%弱で、残りの85%は日本を複数回訪れている訪日リピーターであることがわかります。訪日経験が10回以上のヘビーリピーターも全体の約2割を占めています。また、都道府県別外国人延べ宿泊者数においても2019年は20の県で台湾が第1位となっており、台湾人観光客は大都市のみならず、日本全国をくまなく訪れていることがわかります。

2019年 訪日回数別の内訳（観光・レジャー目的）

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」



2019年 都道府県別外国人延べ宿泊者数で、台湾が1位となった県

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

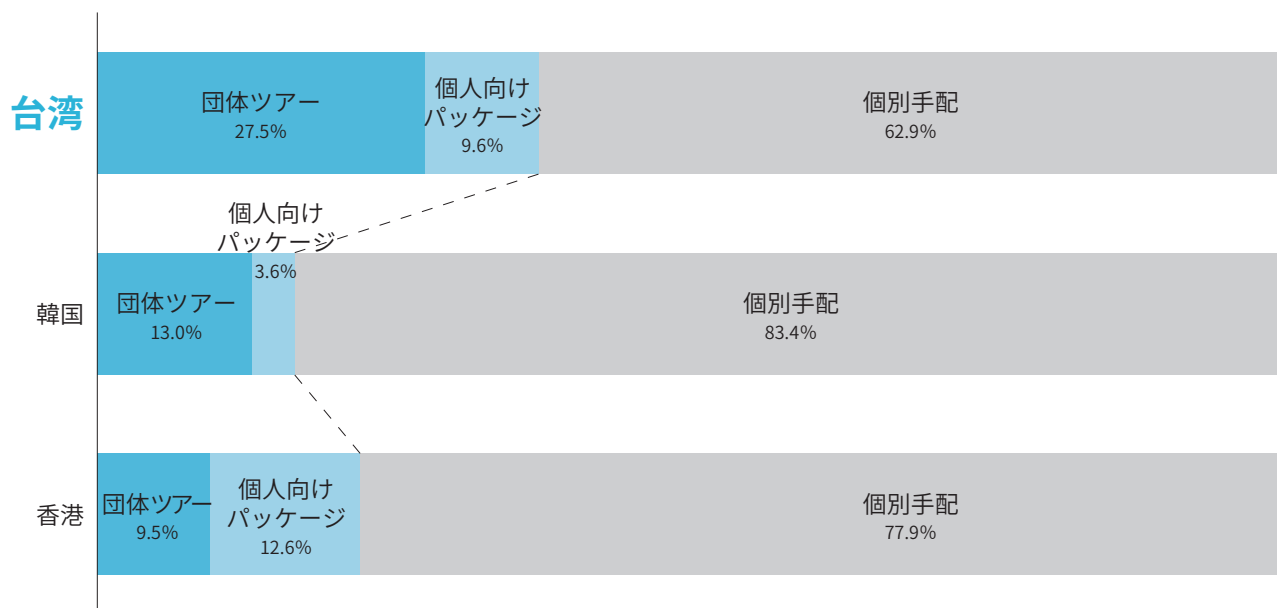
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島・栃木・群馬・新潟・富山
石川・福井・長野・滋賀・島根・岡山・香川・愛媛・高知・沖縄

いまだ存在感放つ台湾の旅行業者 訪日旅行者の約4割が利用

旅行形態別の内訳をみると、訪日旅行者の27.5%が団体ツアーを利用、9.6%が個人旅行向けパッケージ商品を利用しています。つまり、全体の4割近くが旅行業者を通じて日本を訪れていることになります。同じ成熟市場である韓国、香港と比べるとかなり高い割合となっています。訪日リピーターが多いにもかかわらず、いまだ旅行業者が送客に大いに貢献し、強い存在感を放っているのが台湾市場の特徴といえるでしょう。

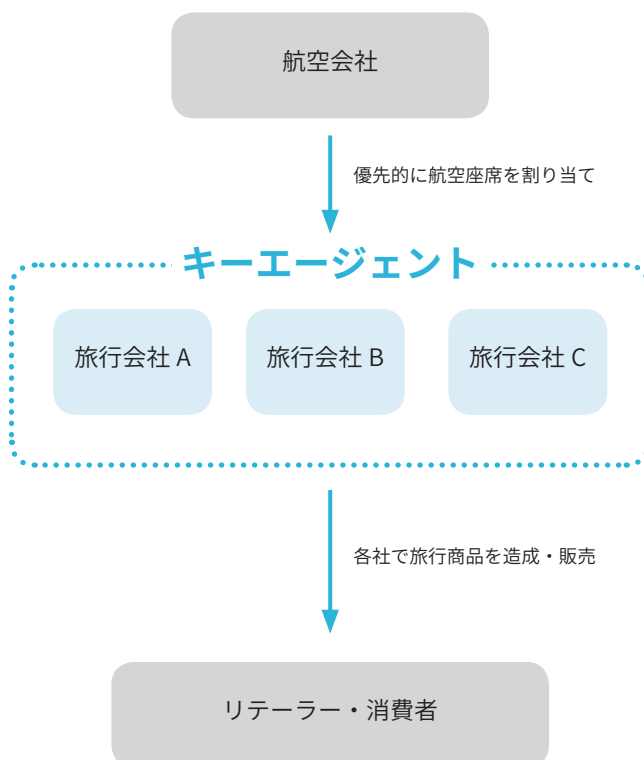
2019年 訪日回数別の内訳（観光・レジャー目的）

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査」



訪日客を飛躍的に増加させた 台湾特有の「キーエージェント制」

台湾の旅行業者が市場に影響力を持ち続けているのは、旅行業界で日本とは異なる商習慣、「キーエージェント制」が採用されているからです。航空会社は、自社に友好的で一定以上の販売能力を有する旅行会社10社ほどを「キーエージェント」と定め、優先的に航空座席を割り当てています。旅行会社は航空会社から買い取った座席を売りさばくため、団体ツアーを多数造成して積極的に販売します。航空会社にとっては座席が売れ残るリスクを軽減でき、旅行会社側は優先的に座席を仕入れることができるという、双方にとってメリットがある制度となっています。こうした独特の背景があったからこそ、台湾は訪日客を爆発的に増加させることができたのです。



わたしたちの強み

台湾旅行業界で
30 年以上に渡り培った
ネットワーク



台湾のマーケットに
ムーブメントを起こす
企画力



長年に渡る実績と
ノウハウに裏付けられた
遂行力

台湾の旅行業界で 30 年以上をかけて得た信頼とノウハウは、私たちの誇りです。このかけがえない財産をもとに、台湾市場を知り尽くした日本人スタッフと、日本人の機微がわかる台湾人スタッフが、きめ細やかなサポートでお客様の訪日インバウンド事業を一步先へと進めます。

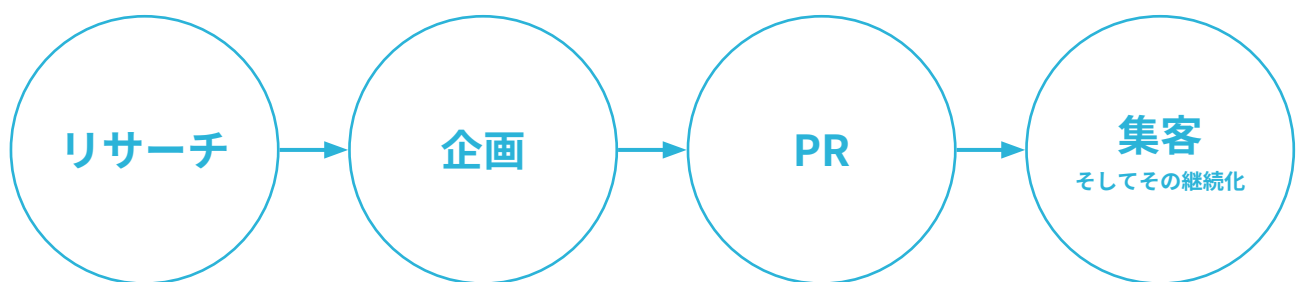
ネクスト・ツーリズム・コンサルティングは、台湾で 1987 年に創業し 30 年以上の歴史を誇る日僑文化事業股份有限公司（日僑文化）から日本事業部が独立して設立された企業です。日僑文化は、JNTO の前身である日本観光協会や台湾観光協会から、日台間および台湾における観光業への貢献により表彰された実績があります。また、台湾最大規模にまで成長した「ITF 台北国際旅行博」を考案、実施するなど、常に台湾の旅行業界を牽引してきました。自社メディアの「TTN 旅報」は台湾初の旅行業界誌であり、2020 年には創刊 30 周年を迎えました。台湾旅行業界における必読誌として約 5 万部を発行、EDM（ニュースレター）は 8 万部を配信しています。

訪日インバウンド事業においても先鞭をつけており、1995 年以降、多くの自治体と企業からコンサルティングやプロモーション事業のご依頼をいただいています。2018 年には山形県の定期チャーター便、2020 年には新潟県のチャーター便誘致にも深く関わった実績を有しています。そして、訪日インバウンド業界が日々成長していくなか、インバウンド事業をより深化させるため、2019 年に日本事業部がネクスト・ツーリズム・コンサルティングとして独立しました。



ネクスト・ツーリズム・コンサルティングは、日僑文化が30年間に渡って培ってきた台湾旅行業界におけるネットワークと知見のすべてを受け継ぎ、訪日インバウンド事業に注ぎこんでいます。日本と台湾のさらなる交流と発展を導くべく、私たちは歩みを止めることなく、みなさまと共に進んでまいります。

●わたしたちが考える「成功する仕組み」



集客ができるシステムを、わたしたちが構築します

わたしたちのサービス

RESEARCH
&
CONSULTING

PROMOTION

市場調査・コンサルティング

観光事業の戦略策定に必要なデータを収集、また、そのデータを元に台湾市場における認知拡大のためのコンサルティングをご提供します。

アンケート

台湾の消費者をターゲットにアンケートを実施し、観光資源の認知度や旅行意欲などを調査します。

各種インタビュー

座談会、グループ対話、1対1などの手法を通じ、台湾市場のリアルな声を集めます。

デスクリサーチ

様々なデータから、台湾人観光客の誘致に必要なデータを集約します。

観光コンサルティング

リサーチ結果を総合的に検証、効果的な台湾市場向け戦略を策定し、ご提案いたします。



台湾現地プロモーション

B to C、B to B の両方向から、様々なプロモーション活動を実施します。

観光素材の魅力を効果的に伝えることで、台湾人観光客の訪問数増加を目指します。

B to C

各種広告制作

WEB、雑誌、新聞、テレビ、ラジオ、屋外広告、交通広告など、戦略や観光素材に適した手法を選び、効果的なPRを実施します。

PR 動画制作

観光資源の魅力を盛りこんだPR動画を制作します。台湾の旅行博で放映したりYouTubeで配信するなど、様々なシーンで活用することが可能です。

インフルエンサーマーケティング

台湾で知名度が高く多くのファンを持つインフルエンサーを招請し、訴求力の高いPR記事を作成して配信します。

SNS 活用プロモーション

台湾の大手旅行会社のSNSやウェブサイトにもPR紹介記事を掲載します。情報発信のほか、実際の送客につなげることが期待できます。

観光パンフレット制作・配布

台湾市場向けに繁体字中国語版の観光パンフレットを制作します。現地の旅行会社や商業施設、飲食店など、人が多く集まる場所で配布することで、手に残る形でのアピールが可能です。



B to B

YouTube 配信プロモーション

台湾の旅行会社に向けて、当社スタッフがお客様からいただいた資料をもとに観光素材を紹介する動画を制作し、YouTubeチャンネルで配信します。より親しみやすいアプローチを通じ、ツアー造成・販売の促進を目指します。



EVENT & SEMINAR

A close-up shot of a person's hands in a dark suit and white shirt, holding a silver pen and writing on a notepad. The background is blurred, showing other people in a meeting or seminar setting.

FAM TRIP

A wide-angle shot of a modern airport terminal. The roof is a striking feature, composed of many white, curved ribs that create a vaulted, ribcage-like structure. People are walking through the terminal, and there are blue directional signs hanging from the ceiling.

SALES SUPPORT

A close-up of a person's hand in a dark suit, using a white electronic calculator on a wooden desk. In the background, there are stacks of white papers and a small sign.

TRANSLATION

A close-up of a person's hands in a white shirt, typing on a white computer keyboard. A computer monitor is visible in the background.

イベント企画・開催・出展

台湾現地において観光説明会・商談会の企画・開催や、旅行博への出展手配、一般消費者向けのPRイベントなどを行います。

観光説明会・商談会の企画・開催

観光資源を台湾市場に向けて訴求するセミナーや、実際の集客につながる商談会などを企画・開催します。台湾現地での開催はもちろん、オンラインでの実施も可能です。

旅行博・観光物産展などへの出展

台湾で人気の旅行博覧会や物産展への出展をサポートします。宣伝告知やブース設営、期間中のミニイベント企画など、ご要望に合わせて多方面から対応します。

PR イベント開催

B to C 向けのPRイベントを開催します。会場手配から内容の企画、当日の進行までトータルで行います。



ファムトリップ企画・実施

ツアー造成が期待できる旅行会社や、影響力のあるメディア、インフルエンサーを招請、日本現地を訪問・視察するファムトリップを企画・実施します。

B to B ファムトリップ

訪日ツアー造成にかかわる旅行会社や航空会社の担当者、旅行業界誌の記者などを招請したファムトリップを実施します。参加者の選出から行程内容の策定、スケジュール調整なども行います。

B to C ファムトリップ

インフルエンサーをはじめニュースサイトや新聞など、拡散率の高いメディアの関係者を招請してファムトリップを実施し、台湾市場に向けて訴求するための記事作成を促します。

視察内覧会

観光施設や店舗など、日本現地での内覧会を企画・実施します。ビジネス上の発展が期待できる参加対象を選定します。



訪台セールスサポート

台湾でお客様が直接セールスする際の事前・当日サポートをご提供します。日本でのセールスと同様にビジネスを進めることができます。

旅行会社訪問セールスアテンド

訪日旅行に強く、お客様の目的に沿った旅行会社を選出し、訪問をアレンジします。また、当日は、ビジネスを円滑に進めるための通訳も行います。

教育旅行特化セールスアテンド

教育旅行セミナーへの参加手配代行や、教育旅行に強い旅行会社へのアポイントメントなど、専門性の高いアレンジをいたします。

アフターフォローサービス

現地セールス終了後、各社の感想や進捗を確認します。訪問時にはつかみきれなかった反応などを知ることができます。

公的機関表敬訪問アテンド

台湾の公的観光関連機関との意見交換や、台湾の各自治体との友好都市締結など、様々なアレンジ・サポートを行います。

訪台コーディネート

訪台セールスのための旅行会社へのアポイントメントや、宿泊・交通機関の手配をいたします。※当日のアテンドは含まれていません。



翻訳・通訳サービス

観光パンフレットやPR動画などの繁体字中国語への翻訳、
台湾でのイベント参加やビジネス時における通訳など、各種サービスをご提供します。



観光関連翻訳

既存の日本語による観光パンフレットやPR動画、ウェブサイトなどを、台湾の公用語である繁体字中国語に翻訳します。

観光関連通訳

台湾での各種イベントや、セールスなどのビジネス活動の際、専門性の高い通訳サービスをご提供します。

その他各種翻訳・通訳

上記以外の各種翻訳・通訳サービスについても対応が可能です。お気軽にお問い合わせください。

自社メディア～BtoB、BtoC 共に効果的な情報発信が可能です

TTN 旅報

台湾初の旅行業界専門誌「TRAVEL TREND NEWS 旅報（TTN 旅報）」は、
1990年10月の創刊以来、台湾旅行業界と共に成長してきました。旅行市場を鋭く
観察しながら、最新の業界情報を提供しています。

2017年8月に1000号を発行し、2020年10月には創刊30周年
を迎えたTTN旅報は、30年間に渡り台湾旅行業界での必読誌と
されています。



創刊：1990年10月
発行部数：50,000部（台湾）
8,000部（中国）
公式サイト：www.ttnmedia.com



Ciao (潮旅雑誌)

月刊「Ciao」はチャイナエアライングループ（チャイナ
エアライン・マンダリン航空・タイガーエア台湾）会員に
向けて発行している旅行雑誌です。世界各地の良質な旅行
情報を掲載しています。

また、ウェブサイトでも独自のデジタル体験を展開して
おり、チャイナエアライングループの全世界会員400万人
に向け、毎月EDM（ニュースレター）を配信しています。

創刊：2017年12月
発行部数：毎号80,000部
公式サイト：www.ciaotw.com



これまでの実績

顧客一覧（敬称略）

東京都

公益財団法人 東京観光財団（TCVB）

業務名称：東京観光レップ業務委託

主な業務内容

1. 現地メディア及び旅行事業者に対する東京のセールス活動
2. 現地メディア及び旅行事業者に向けて、東京の最新情報等を発信
3. 東京ブランドに基づいた「旅行地としての東京」のプロモーション実施
4. 旅行博出展サポート
5. 現地旅行事業者向けセミナー実施
6. 旅行事業者による東京視察旅行の企画

新潟県

新潟県国際観光テーマ地区推進協議会

業務名称：台湾現地観光コーディネーター配置業務

主な業務内容

1. 現地セールス活動のサポートとフォローアップ
2. 現地メディアへのセールス活動
3. 情報収集及び新規旅行会社等の掘り起こし
4. 招聘事業への支援及びフォローアップ
5. 情報収集・情報発信等
6. 事務局業務

遠鉄ホテル&リゾート

遠鉄観光開発株式会社

業務名称：台湾におけるプロモーション業務

主な業務内容

1. 運営施設の情報拡散及び販売促進
2. 市場調査
3. その他
4. 施設名：ホテル九重、ホテルウェルシーズ浜名湖、ホテルコンコルド浜松、かんざんじロープウェイ

山形県

山形県観光文化スポーツ部

イン・アウトバウンド推進課

業務名称：台湾現地コーディネーター設置事業

主な業務内容

1. 県関係旅行商品の造成促進・働きかけ
2. 台湾市場に向けての観光情報発信及び PR 活動
3. チャーター便の誘致活動
4. 情報収集・調査・分析
5. 県関係者訪台時のサポート全般
6. その他各種コーディネート業務

大分県日田市

日田市商工観光部観光課

業務名称：台湾レップ事業委託業務

主な業務内容

1. 事務局業務
2. 現地セールス活動のサポート及びフォローアップ
3. 現地メディアへのセールス活動
4. 新規旅行会社等の開拓
5. 各媒体（BtoB、BtoC）での露出を通じた情報発信

瀬戸内海観光

一般社団法人玉野コミュニティ・デザイン

業務名称：台湾での観光コンテンツプロモーション業務

主な業務内容：

1. 観光コンテンツの情報拡散及び販売促進
2. 市場調査
3. その他
4. 販売商品名：瀬戸内ヨットチャーター、貸切無人島くじら島、瀬戸内温泉たまの湯

NEXT.T.C.

ネクスト・ツーリズム・コンサルティング

台北市中山區建國北路一段 90 號 10F-2 ● Tel：+886-2-2515-2999 內線 252/253（日本語専用）● FAX：+886-2-2516-0855 ● URL：www.next-tc.com